

ワイヤレスIoTセミナー 【アンケート集約結果】

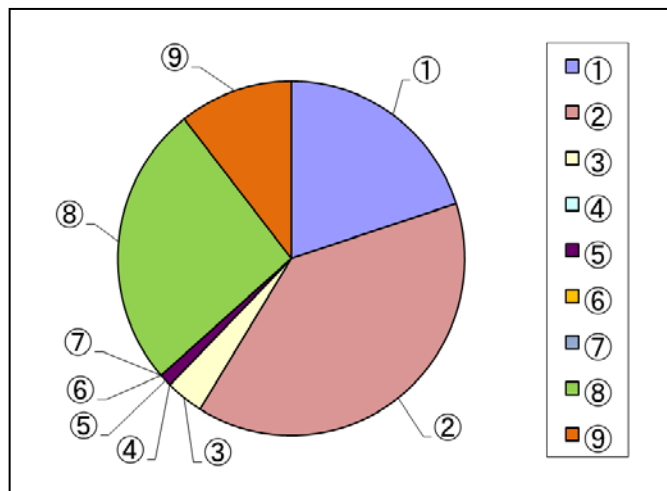
- 日時 平成28年11月21日(月) 14:00~17:00
- 会場 KKRホテル広島 1階 孔雀の間
- 主催 総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会
- 後援 広島市、中国経済連合会、広島商工会議所、中国電子タグ(RFID)利活用研究会
- 参加者数/アンケート回収数 112名/73名 (回収率65%)

1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ①中国情報通信懇談会 ②中国総合通信局 ③広島市 ④中国経済連合会 ⑤広島商工会議所
- ⑥中国電子タグ(RFID)利活用研究会 ⑦新聞等 ⑧上司・同僚・知人等 ⑨その他

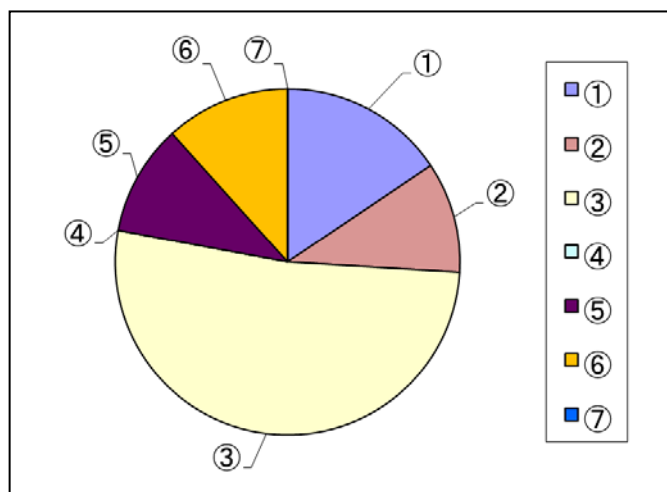
番号	回答数
①	17
②	33
③	3
④	0
⑤	1
⑥	0
⑦	0
⑧	22
⑨	9
計	85



どのような方法で

- ①HP ②メールマガジン ③メール ④記事等 ⑤FAX ⑥直接聞いて ⑦その他

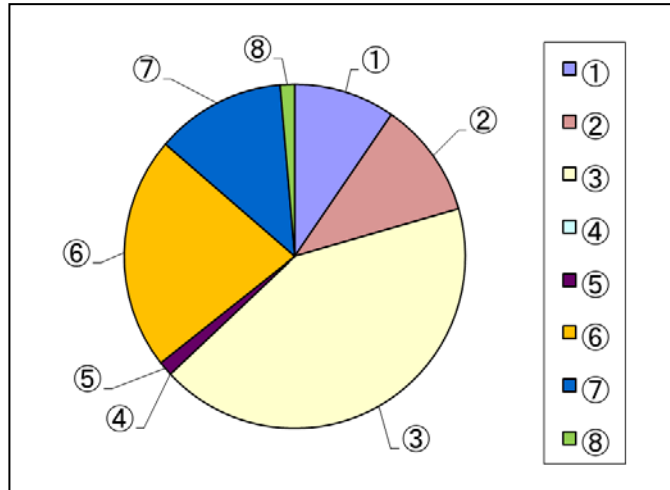
番号	回答数
①	12
②	8
③	40
④	0
⑤	8
⑥	9
⑦	0
計	77



2 貴方が所属する企業・団体等の主な分類を一つだけ○で囲んでください。

- ①製造・販売 ②エネルギー ③情報通信 ④放送 ⑤サービス ⑥公務
 ⑦その他の事業 ⑧個人

番号	回答数
①	7
②	8
③	31
④	0
⑤	1
⑥	16
⑦	9
⑧	1
計	73



3 本セミナー各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

- (1) 基調講演 演題 IoT時代に向けた移動通信政策の動向
 講師 総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 課長 杉野 勲 氏

大変参考になった	31	興味がわく話だった	23
参考になった	10	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	6	おもしろかった	5
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 技術の進歩と人のパラダイムをどのように埋めていくのか。ギャップに興味を向けて研究できそう。
2. 規格の検討から標準化を経て実装までの流れが大変わかりやすかったです。技術者である自分にもよく理解できました。5Gまでの流れと今後の課題、取り組みがよく理解できました。
3. 具体的な話と言うより、おぼろげな感覚が中心だった。
4. Network の変遷、それも最近の動向に関しては、あまり情報を得ることができていなかったため、それらを得ることができ、良かった。5Gなど通信規格の変更に伴いそれを取りまくビジネスモデル、社会のあり方についても興味をそそられました。
5. 3Gの終了予定を当局としていつ頃を予定しているのでしょうか。
6. 5Gの推進ドライブは、クルマでしょうか。
7. 早口で内容はほとんど聞き取れなかった。講演会やセミナーの講師ではなく事務方なので話す練習が必要なのではと感じた。
8. 時間が短くてわかりにくかった。もう少し個々の取り組みを詳しく紹介頂ければと思いました。
9. 現状のIoTについて触れることができ参考になった。
10. 統計データのトレンド etc
11. どのような活用方法があるか具体的な事例を紹介いただければよかった。
12. 5Gに関する詳細の説明をもう少しお聞かせ頂きたい。
13. ネットワーク技術の進歩が現在よりもさらに生活を便利にしていくことを考えると、それに関する政策やインフラの整備が非常に重要なのではないかと感じた。

14. 5G 時代には、キャリアによるスマホ・タブ販売という側面は少なくなるというお話は興味深かったです。IoT をはじめとする 5G を真に活用できる技術、インフラを商用化するためのロードマップも勉強になりました。
15. ICT 分野の将来像は、遠い未来の話であるようだが、スケジュール的には実現が近いことを実感しました。少しでも実現に貢献できれば嬉しいと思います。
16. 5G の動向が理解できました。
17. ビジネスモデルのイメージが浮かんでくる説明でわかりやすかった。
18. 社内へ情報共有したいと考えております。可能でしたら PDF でもかまいませんので資料をデータでいただけないでしょうか。

(2) 講演 1 演題 N I C TにおけるWi-SUN多様化のための取組み

講師 国立研究開発法人 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター
ワイヤレスシステム研究室 室長 児島 史秀 氏

大変参考になった	21	興味がわく話だった	15
参考になった	38	興味がわかない話だった	3
あまり参考にならなかった	5	おもしろかった	3
全く参考にならなかった	1	つまらなかった	2

1. トークンやウイニーをイメージしたが、電力をおさえる技術が他にも応用できそう。
2. 規格の検討から標準化を経て実装までの流れが大変わかりやすかったです。
3. 自動車業界の事例は(工場)、興味があった。
4. スマートメーターの関係が役にたった。
5. Network の規格に対する動きは、IEEE や RFC を通じて得ることができるがこのように直接お話を伺うことができ非常に嬉しく思います。機会があれば NTP など時刻同期の方法、今後のビジネスプランについて詳しく伺いたいです。
6. 理解ができなかった。
7. 専門的なこともあり、難しかったが興味あるお話だった。
8. 内容が専門的で理解が難しい。
9. Wi-Sun 多様化で家庭にあるメータにセンサを取り付ける内容があったが、電池の余裕があったので、他のことに使えるのではないかと思った。
10. 電気の使用量がわかれば、電力会社で発電する電力量をコントロールできて無駄なくエネルギーを運用できるのではと思いました。
11. 標準化に向けた課題設定の考え方
12. 概要については、予め把握していた。
13. 将来の見通し、商品化のスケジュール等次回機会があればお聞かせ頂きたい。
14. 今後、日本にも導入予定のスマートグリッド技術の無線技術について知れてよかった。この技術で消費者及び経営者の利益が上がると思われる。
15. 日常業務では標準化などは行わないのですが、大変興味深かったです。日本団体による標準化の難しさは考えさせられました。プロトコルの詳細なところが難しかったですが、聞き易くプレゼンして頂けたので聞き易かったです。
16. スマートメータ市場の発展に通信事業者の立場から貢献できるよう今後勉強していきたいと思ます。
17. ECONET Lite との接続性が確立しており将来性に期待が持てる。
18. 資料はとても専門的な内容ばかりで難しいと思いましたが、児島先生のお話がわかりやすく興味がわきました。
19. 具体的に商用への応用が期待されると思われる。

(3) 講演2 演題 センサーネットワークによる安心安全な街づくり
 講師 国立大学法人 信州大学 総合情報センター長 教授 不破 泰 氏

大変参考になった	41	興味がわく話だった	24
参考になった	23	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	0	おもしろかった	7
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 多くの組み合わせが考えられますね。
2. 非常に判りやすく説明してもらいありがとうございました。今後の(災害時)ライフラインの早期復旧に役立つと認識しました。
3. 弊社も立场上そのような面について考える必要がある。既存の幹線ネットワーク(光伝送路)に対するウエイト、比重が大きい。そのため、不破先生のように外部電源を必要としない Network の構築にも興味があり、是非実施してみたいと思いました。
4. 説明が丁寧でよく理解できた。
5. 実際の取付状況など映像もありわかりやすかった。
6. 具体的な話が聞けて参考になった。
7. 新しいネットワーク社会が来ていると感じました。社会に役立つ開発に感動しました。
8. 災害時に電力を必要としないものを作るという省エネな機器があり驚いた。
9. 災害時にも使用できるネットワーク構築というのは簡単なことではないと思いますが、実現されれば被害が大きく抑えられると思うので今後に期待したいです。
10. センサの具体例。災害時の電源喪失時を想定した前提の置き方。
11. 独自に取り組みとして興味の沸く内容だった。災害時への対応として、地震へ備えるための活用方法も必要と感じた。
12. 実用化されているシステムの話聞くことが出来てとても参考になった。
13. 近年地球上で類をみない災害等が発生している現実がある。予防・対策を含めてこの技術の進歩は非常に重要であると感じた。
14. 自身も修士のときアドホックネットワークに携わっていましたので、興味深かったです。中継器が Ad-hocNW を構築する手順(プロトコル)についてもお伺いしたかったです。
15. 必要なシーンに応じて、最小限の実装でサービスを提供する点について今後の参考にしたいと思います。
16. 必要最小限のデータ(通信)で常時使用できる NW の重要性を感じました。
17. ビジネス的には課題があると思うが、行政レベルでは進んでいることが確認できた。
18. 小電力でのネットワークは、これからいろんなことに使っていけるのではないかと関心をもちました。

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. 放送のすきまを利用したシステム
2. オープンプラットフォームとセキュリティの確保
3. プラント内の小さな機器一つ一つにセンサをつけ、ビッグデータを得る。
4. 例えば、Wi-Sun を製造業の工場内などでどのように利用していけるか、可能性があるかを知りたいです。
5. これから無線を電波を使用する設備、機器はますます増えていくことと思いますので、それらを円滑に利用できる形。また、新規の Network 技術を試行的に導入してほしいと思います。
6. どんな所(時)でも利用できる電波が必要となる。
7. つながる車の実現とセキュリティ対応の両立

8. 電波と情報セキュリティの関係について
9. 災害の増加に対する防災、人口減少に伴う事務の効率化に通信が大いに役立つと感じた。
10. 電気・ガス・水道が共用する自動検針診断システムで効率的なサービスの提供
11. 電波利用の見直しにより、より災害対策に割り当てられる部分が増えることを期待します。
12. 森林での電波利用
13. 新たな新技術(夢)に向けて
14. 5Gによる通信
15. ワイヤレスネットワークの最新装置と普及コスト
16. ネットワークのセキュリティへのセンサーネットワークの対応策について
17. 5G ネットワーク、携帯電話、IoT を融合したシステム開発等の話を聞かせて頂きたい。
18. 人々が求める利便性や安心・安全はもちろんのこと、それを誰もが使える簡易性を持たせることを期待しています。
19. まだまだ電波の有効利用により、安全、安心な社会に変わっていくことを知りました。携わっていければと思います。
20. 医療福祉への電波の利活用。電波の生体への影響(安全性)
21. ホワイトスペースの活用について、現状と今後の動向等について知りたい。
22. 回線のセキュリティ対策について。(無線でも有線でも)

5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. 工場プラント内の無線 NW 化について
2. 今回のような Network の基盤に関するテーマを取り上げていただきたいと思います。ありがとうございました。
3. ウェアラブル機器について
4. 電波政策 2020 懇談会報告における近未来の ICT 利活用イメージの具体例(実現例)
5. ドローンを使った各種取組み
6. ビッグデータ
7. 今回は内容(IoT 技術)の良いセミナーでした。今後も、定期的な開催をお願いいたします。本日は、有難うございました。
8. 災害対策
9. 人工知能について。これからどこまで発展していくかなど
10. IoT とセンサー技術
11. 医療福祉分野で電波利活用研究をされている方の講演